夏活動 6
月～9月)

初　式

行われる出初式は、消防車による市内パレードから始まります。東大和警察署白バイ隊が先
揮車、市長車、全分団消防車両が市内を一時間ほどかけてパレードし、出初式会場の野山北公園グラウンドに到着します。式典に先立ち全消防団員が消防団旗を先頭に徒列行進を行い、続いて全分団車両による分列行進を行い、会場に入場します。式典は消防団員の規律正しい整列の中、開式宣言、消防団長訓示と進行していきます。その後、表彰、来賓挨拶･祝辞、吹奏楽クラブの児童による演奏が行われ、消防操法演習、そして一斉放水が行われます。一斉放水は式典の最後を飾るもので消防車８台及び可搬ポンプ８台の計１６台が直上高く色のついた水を放水するものです。

パレード

徒列行進

消防操法

一斉放水

■ 武蔵村山市消防団の歴史

年　　代	内　　容
明治２７年　２月	中藤村、横田村、三ツ木村、岸村の４カ村で消防組が組織されていた。
明治４１年　４月	横田村が中藤村と合併し中藤村他２カ村組合となり、消防組は３組合となる。
大正　６年　４月	３カ村が合併し「村山村消防組」となる。
昭和１４年　４月	「村山村警防団」が発足する。
昭和２２年１１月	「村山村消防団」が発足する。
昭和２９年１１月	町制施行に伴い「村山町消防団」となる。
昭和４３年　２月	北多摩西部消防組合（署）設立
昭和４５年１１月	市制施行に伴い「武蔵村山市消防団」となる。
昭和４７年　４月	消防分団の整理統合が成立し、１５分団から８分団へ再編成。
昭和４９年　４月	北多摩西部消防組合の消防業務を東京都へ委託。
昭和６３年　５月	ジェットシューター（背負い式消火水のう）を全分団に各２基配備。
平成　７年１２月	消防団本部指揮車購入。
平成　８年　９月	阪神・淡路大震災の教訓をいかし、全分団に可搬消防ポンプを配備（全８台）。
平成１３年　９月	火災発生時における迅速な活動態勢を確保するため、ポケットベルを導入。
平成１９年　２月	第二分団に配備の 1.5t 水槽付消防ポンプ車を更新。
現　　在	８個分団 定数２０４名(本部４名､各分団２５名×８個分団)　実団員数　１９３名

消防団員募集！　自分の町を自分の手で守ってみませんか?

《入団資格》
☆市内に住所を有し、又は市内に通勤する年齢１８歳以上の者
☆志操堅固で身体強健な者

《問い合わせ先》
消防団事務局　武蔵村山市総務部防災安全課　TEL:042(565)1111
http://www.city.musashimurayama.tokyo.jp
防災・防犯・消防団・国民保護「戸締り用心！火の用心！」

編集発行　武蔵村山市消防団
平成１９年４月　発行

武蔵村山市消防団 NEWS Vol.4

表彰旗を囲む正副団長・分団長

消防総監表彰旗受賞

武蔵村山市消防団は、平成１８年度に東京消防庁消防総監｢特別優良表彰｣として表彰され、表彰旗を受賞しました。今回の受賞は、歴代の団長をはじめとする消防団員が、郷土愛護の精神のもと、日々の訓練と献身的な活動を実践した功績が認められたものです。
平成１９年１月１４日、武蔵村山市消防団出初式において表彰伝達されました。

■ 消防総監表彰旗について

東京消防庁消防総監表彰旗は、消防団表彰規程（東京消防庁訓令第４５号）に基づく特別優良表彰で｢規律厳正にして訓練等に精励し、かつ、その成績が特に優秀である｣消防団に授与されるものであります。
表彰旗の生地は、江戸紫色の正絹西陣綾錦織で、中央紋章の消防章マーク及び文字は金色刺繍仕上げ、月桂樹の葉及び茎は緑色刺繍仕上げ、実は赤色、リボンは桃色で刺繍仕上げ金平ゼッケンモールを四方に付し、金色四段幅 120 ㎜フリンジと飾り房付になっています。

分団だより

★ 第二分団（中藤一丁目9番地の１）

第二分団は、平成１８年４月に４名の新入団員を加え、現在２４名で活動しています。平成１９年２月２２日に武蔵村山市消防団初のオートマチックの 1.5t 水槽付消防ポンプ自動車に入れ替わりました。今後も、団員一同新しい消防ポンプ自動車と共に一致団結し、消防活動に励んでいきたいと思っています。

第二分団長　藤野 政彦

団長から分団長への車両引渡し

新車両

新旧車両前での記念撮影

操作方法説明

★第六分団（三ツ木三丁目２３番地の１１）

第六分団は、地域の防災リーダーとして、冷静な判断や指示を的確に伝え、行動できるように日ごろから訓練を重ねています。また、地域の行事における警戒活動や自治会等との交流も積極的に行っています。

【地域の警戒活動】

平成 18 年 8 月 19 日「いずみ幼稚園　夕涼み会」
8 月 26 日「武蔵村山市観光納涼花火大会」
9 月 30 日「峰守稲荷例大祭」
10 月 12 日「宿薬師例大祭」
10 月 28 日「村山デエダラまつり」
11 月 25 日「二小まつり」
12 月 27、29 日「年末特別警戒」
など

第六分団長　本木 靖典

いずみ幼稚園　夕涼み会警戒

花火大会事前散水

峰守稲荷例大祭警戒

デエダラまつり警戒

★ 第七分団（残堀五丁目８番地の１）

第七分団は、日頃の訓練や警戒等の活動のほか、自主的に訓練を計画し、団員の消防意識・技術の向上に努めるとともに、地域の安全を守るため巡回広報等を実施しています。

また、平成１９年の出初式には消防操法演技を披露しました。前年の１０月から各自仕事を終えたあとの夜間に計１５回の訓練を実施し、分団員が一致団結しケガもなく無事に終えることができました。

今後も、一生懸命活動していきたいと思っていますので、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

第七分団長　福島 浩司

H18.9.23 北多摩大会

H18.10.14
連携訓練(三ツ木出張所)

H19.1.14 出初式

H18.10.28
デエダラまつり警戒

H18.10.26 出初操法訓練

H19.1.21 破壊訓練

TOPICS

破壊・消防活動訓練

実施場所：村山団地
期　　日：平成１９年１月２１日(日)

解体予定の村山団地において、各種資器材を使用しての床や壁の破壊、建物へ侵入しての消火活動など、北多摩西部消防署員の指導により実施しました。

建物侵入訓練

破壊訓練

避難所体験訓練

実施場所：雷塚小学校
期　　日：平成１９年１月２１日(日)

「防災とボランティア週間」に合わせて避難所に指定されている市立雷塚小学校の校庭及び体育館で、住民主体による避難所の開設、煙体験、初期消火、応急救護訓練が行われ、第三分団が指導等に当たりました。

仮設トイレ設営

応急担架作成

文化財消防演習

実施場所：眞福寺
期　　日：平成１９年１月２７日(土)

１月２６日の「文化財防火デー」に合わせ、本市の文化財に指定されている眞福寺で消防演習が行われ、第一分団が参加し、放水訓練等を実施しました。

被害状況確認

一斉放水

救助救急演習

実施場所：ダイヤモンドシティ・ミュー
期　　日：平成１９年２月２３日(金)

東京消防庁第八方面本部による救助・救急演習がダイヤモンドシティ・ミューで行われ、乗用車が駐車場から転落し火災が発生したとの想定で、全分団が参加し、救助・救急活動要領の演習を行いました。

到着報告

負傷者搬送

教官派遣訓練

実施場所：野山北公園運動場
期　　日：平成１９年３月４日(日)

東京都消防訓練所の教官にご指導いただき、署隊及び各分団との連携や団本部の運営要領など実践的な消防活動の技術を習得するための総合的な訓練を実施しました。

消防団本部運営訓練

筒先配備(延焼阻止)訓練

TOPICS